

内村鑑三，キリスト者

2019 年本試

問 7 近代日本のキリスト者についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 新島襄は、『代表的日本人』を著し，中江藤樹などの優れた先人が育んできた日本の文化的土壌にこそキリスト教が根付くと主張した。
- ② 新渡戸稲造は，国際社会における地位向上のため，キリスト教に基づく教育を行い，日本の西欧化に尽力するとともに，脱亜論を主張した。
- ③ 植村正久は、『武士道』を著し，武士道道德を基盤として，キリスト教的な人格主義教育を行うことが日本の近代化に必要だと主張した。
- ④ 内村鑑三は，日清戦争を正義のための戦いと捉えて肯定したが，日露戦争に際してはキリスト教に基づく非戦論を主張した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 7	26	④	2

2018 年本試

問 8 次の文章は、内村鑑三が基督教の伝道活動に専念し始めた時期に書いたものである。その内容の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27

罪から救われた者がまだ罪に沈んでいる者を救おうとするのが伝道であり、救済である。私が救済を唱えるのは、私が完全無欠の人であるからではなく、私はかつて病を癒されたことがあるから、その快さを他人と分かち合いたいと思うからにほかならない。……私たちは世の人々を教えようとする教師ではなく、体験したことを世の人々に分かとうとする表白者である。私たちは人々を私たちのもとに導こうとする者ではなく、私たちを経由して人々を神のもとへと導こうとする者である。したがって、私たちは欠点を指摘されることを厭わ^{いと}ない。なぜならば、私たちの欠点はかえって神の完全性を示すことになるからであり、私たちの弱さは神の強さを確認させることになるからである。

(「基督教と師弟の関係」より)

- ① 基督教の伝道は、罪に沈む人々を伝道者の力で直接に救済するものではないのだから、伝道者は弱き自己が救済された体験を伝えることに徹すべきであり、神の完全性を示すことを目指すべきではない。
- ② 基督教の伝道は、伝道者が弱さを自ら克服した体験を語ることによって、人々に弱さを克服する意志をもたせるものである。したがって、伝道者のもつ弱さは、伝道を行ううえでかえって好都合ともなり得る。
- ③ 基督教の伝道は、人々を神に出会わせるという重責を担っているため、伝道者は自らの弱さを自覚し、厳しい自己鍛錬によって神の強さに少しでも近づくことができるよう努めなければならない。
- ④ 基督教の伝道は、人々を神に出会わせ、罪から救われる喜びを伝えるものである。その際に、伝道者のもつ弱さが人々に^{あら}わになったとしても、そのことはかえって神の強さを示すことにもなり得る。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
------	----	------	----	----

第 3 問	問 8	27	④	3
-------	-----	----	---	---

2016 年本試

問 2 次のア～ウは，教育をめぐる様々な考察や実践についての説明であるが，それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

2

ア 未熟な存在としてこの世に生まれ落ちた人間が，青年期に至って自己や性に対する自覚を強めるようになることを第二の誕生と表現し，子どもの自然な素質や成長に応じた教育の必要性を説いた。

イ 幕末に渡米し，欧米の近代文明の根底にはキリスト教道徳があるという洞察のもと，帰国後に学校を創立した。もっぱら知識のみに偏った教育に危惧を抱き，キリスト教に基づく良心教育を重んじた。

ウ 教育勅語に対する拝礼を信仰上の理由に基づいて拒否した「不敬事件」に触発され，教育勅語の趣旨を否定する反国家主義的な宗教だとしてキリスト教を排撃し，教育と宗教をめぐる論争を引き起こした。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|-------|
| ① | ア | ピアジェ | イ | 新島襄 | ウ | 美濃部達吉 |
| ② | ア | ピアジェ | イ | 新島襄 | ウ | 井上哲次郎 |
| ③ | ア | ピアジェ | イ | 福沢諭吉 | ウ | 美濃部達吉 |
| ④ | ア | ピアジェ | イ | 福沢諭吉 | ウ | 井上哲次郎 |
| ⑤ | ア | ルソー | イ | 新島襄 | ウ | 美濃部達吉 |
| ⑥ | ア | ルソー | イ | 新島襄 | ウ | 井上哲次郎 |
| ⑦ | ア | ルソー | イ | 福沢諭吉 | ウ | 美濃部達吉 |
| ⑧ | ア | ルソー | イ | 福沢諭吉 | ウ | 井上哲次郎 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	2	⑥	3

2016 年追試

問 7 次の文章は、日本の文化や思想を外国語によって紹介した人々についての説明である。□ a □～□ c □に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 □ 26 □

翻訳による一方的な西洋思想の受容の段階から、伝統的な文化や思想への見直しが進んでいくに及んで、得意の語学力を生かし、日本の文化や思想を海外へ紹介する思想家が現れた。極端な西洋偏重の風潮に抗して、日本の文化や美術の優秀性を唱えた□ a □は、「アジアは一つ」と主張し、西洋に対抗するアジアの覚醒を訴えた。また、武士道を「日本の魂」として捉えた□ b □は、英語による著述のなかで、武士道の道徳性を強調するとともに、「太平洋の橋」となることを目指し、国際交流に尽力した。一方、日本人の「霊性的自覚」について考察し、「無心」という観念をもとに仏教を解説した□ c □は、禅などの思想を英文によって積極的に世界へ紹介し、欧米の諸大学で講義を行った。

- ① a 陸羯南 b 内村鑑三 c 鈴木大拙
- ② a 陸羯南 b 内村鑑三 c 清沢満之
- ③ a 陸羯南 b 新渡戸稲造 c 鈴木大拙
- ④ a 陸羯南 b 新渡戸稲造 c 清沢満之
- ⑤ a 岡倉天心 b 内村鑑三 c 鈴木大拙
- ⑥ a 岡倉天心 b 内村鑑三 c 清沢満之
- ⑦ a 岡倉天心 b 新渡戸稲造 c 鈴木大拙
- ⑧ a 岡倉天心 b 新渡戸稲造 c 清沢満之

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 7	26	⑦	3

2015 年追試

問 8 次の文章は、内村鑑三におけるキリスト教の理解と彼の社会的実践についての説明である。□ a □ ～ □ c □ に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 □ 27 □

内村は、一人ひとりが独立した個人として神の前に立ち、聖書そのものに 拠ることによって、信仰がその心のうちに与えられるという □ a □ を唱えた。また、社会改良運動などの様々な「事業」に参加する一方、日露開戦に際しては非戦論を提唱するなど、信仰に基づき積極的に社会と関わり続けた彼は、自らの生涯をイエス(Jesus)と □ b □ という「二つの J」に捧げたのである。さらに彼は、「□ c □ の上に 接木^{つぎき} されたるキリスト教」という言葉を残したように、キリスト教を受容する基礎が、自らの文化的伝統に存していると考えていた。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------------|---|-----|
| ① | a | 内部生命論 | b | 正義(Justice) | c | 武士道 |
| ② | a | 内部生命論 | b | 正義(Justice) | c | 儒学 |
| ③ | a | 内部生命論 | b | 日本(Japan) | c | 武士道 |
| ④ | a | 内部生命論 | b | 日本(Japan) | c | 儒学 |
| ⑤ | a | 無教会主義 | b | 正義(Justice) | c | 武士道 |
| ⑥ | a | 無教会主義 | b | 正義(Justice) | c | 儒学 |
| ⑦ | a | 無教会主義 | b | 日本(Japan) | c | 武士道 |
| ⑧ | a | 無教会主義 | b | 日本(Japan) | c | 儒学 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 8	27	⑦	3

2013 年追試

問 8 次のア～ウは、武士の家に生まれ、近代に入ってキリスト教を広めた思想家の説明であるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 28

ア 武士の家に生まれたが、脱藩して米国で受洗し、帰国後、キリスト教精神に基づく学校を創立した。キリスト教道徳に則った良心教育を重んじた結果、その門下から日本の社会福祉の草分けとなる人物が輩出した。

イ 「太平洋の架け橋」となることを志して、英文の著書を刊行した。そのなかで、西洋文明の精神的基盤であるキリスト教を日本人が受け容れる倫理的な素地として、武士道があると述べた。

ウ キリスト教と武士道の道徳心を結びつけ、イエスを信ずることと日本を愛することは矛盾しないと述べたが、日露戦争に際しては、真の愛国心とは武器をもって戦うことではないと主張した。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| ① ア 新渡戸稲造 | イ 植村正久 | ウ 内村鑑三 |
| ② ア 新島襄 | イ 内村鑑三 | ウ 新渡戸稲造 |
| ③ ア 植村正久 | イ 新渡戸稲造 | ウ 新島襄 |
| ④ ア 内村鑑三 | イ 新島襄 | ウ 植村正久 |
| ⑤ ア 新島襄 | イ 新渡戸稲造 | ウ 内村鑑三 |
| ⑥ ア 新渡戸稲造 | イ 内村鑑三 | ウ 植村正久 |
| ⑦ ア 植村正久 | イ 新島襄 | ウ 新渡戸稲造 |
| ⑧ ア 内村鑑三 | イ 植村正久 | ウ 新島襄 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 8	28	⑤	3

2009 年追試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

明治時代に再び布教が盛んになったキリスト教は、『基督信徒のなぐさめ』を著した のような西洋文明に強い関心を寄せた知識人にまず受容されたが、新文明の流入による急速な近代化に混乱する人々にも新しい救いの道をもたらした。

- ① 内村鑑三 ② 新島 襄 ③ 徳富蘇峰 ④ 中村正直

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 1	14	①	2

2008 年本試

問 7 次の文章中の **ア**・**イ** に入る人物の組合せとして最も適当なものを、
下の①～④のうちから一つ選べ。 **20**

近代のキリスト教徒のなかには、自尊のよりどころを、いわゆる武士道精神に求めようとした者たちがいた。札幌農学校に学び、後に米国に渡ってフレン
ド派(クエーカー)の信仰のあり方に影響を受けた教育者である **ア** は、「武
士道」の語を海外へ紹介した。彼のようなキリスト教指導者の多くが、武士道
を精神的な基盤とし、そのうえにキリスト教の信仰を受け入れようとした。横
浜の教会でキリスト教に入信し、東京神学社を創設して日本の神学界において
指導的な役割を果たした **イ** もその一人である。彼らの考えた武士道は、実
際にはどの時代の武士の実像にも対応しない独自のものであったが、その後の
武士に対する一般的なイメージに影響を与えた。

- ① **ア** 内村鑑三 **イ** 植村正久 ② **ア** 内村鑑三 **イ** 井上哲次郎
③ **ア** 新渡戸稲造 **イ** 植村正久 ④ **ア** 新渡戸稲造 **イ** 井上哲次郎

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問7	20	③	3

2007 年本試

問 5 日本の代表的なキリスト教思想家に内村鑑三がいる。内村の思想に関する説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 英文で『武士道』を著して日本人の道徳を欧米に紹介し、自らのキリスト教を「武士道に接木されたるキリスト教」として説いた。
- ② イエスと日本は矛盾するものではなく、近代化の中で混迷する日本人の精神的再生のために、イエスへの純粋な内面的信仰の大切さを説いた。
- ③ 人間は、神の前に独り立つ存在であり、教会や儀式に囚われず、直接聖書を読むことに基づく信仰を重んじるべきであると説いた。
- ④ 日本は純粋な信仰が行われ信義を重んじる国であり、拝金主義や人種差別が蔓延する外国よりも、真のキリスト教が根づく国であると説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 5	18	①	3

2005 年追試

問 3 日露戦争の際に非戦論を唱えた人物に内村鑑三がいる。彼についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 国を愛するとは，平和を守って日ごろから勤勉に正しく生きることだと説いた。また，聖書の言葉に直接向き合うことを重視し，イエスと日本に自分の生涯をささげることを誓った。
- ② 日本の独立のためには科学技術の習得が必要だと考え，幕末に国禁を犯してアメリカに渡った。その地でキリスト教信仰を深め，帰国後は同志社を設立し，多くの人材を養成した。
- ③ キリスト教的人道主義・博愛主義から出発し，労働者の生活を改善し，社会の不公平を是正することなどを目指して活動した。やがて政党を結成するが，政府から弾圧された。
- ④ キリスト教が日本に定着するためには武士道精神が不可欠であると考え，武士道についての著作を著した。また，「太平洋のかけ橋」となることを目指し，国際社会で活躍した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	31	①	3

2003 年追試

問 6 台湾総督府の植民地官僚でもあった新渡戸稲造の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- ① キリスト教に匹敵する精神文化として，日本に武士道の伝統を見だし，それを世界に紹介した。
- ② キリスト教の影響を受けながら，学生時代には人道主義に傾倒し，後に大正デモクラシーの指導的役割を担った。
- ③ キリスト教の洗礼を受け，啓蒙思想の普及に努め，『西国立志篇』等の翻訳書を世に出した。
- ④ キリスト教の信仰に基づき，日露戦争に際しては，絶対平和主義を主張して，徹底した非戦論を唱えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 6	27	①	2

2000 年本試

問 3 苦しむ人々とともに生きたイエスの行為を学び、実践した人物の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① 新島襄は、「自由と ^{キリスト} 基督教の道徳」が欧米の文明の根底にあると考えて、物質文明のみを輸入することの無益さを説き、社会的圧迫を受けながらも聖書に基づく信仰に支えられて、自由・自治の精神に ^{あふ} 溢れた人格教育を行った。
- ② マザー・テレサは、イギリスの植民地支配に対してインドの独立と民族解放の運動を始めるために、「死を待つ人の家」や「平和の村」を開き、カトリック教徒として、身体的・精神的に虐げられた人々に奉仕した。
- ③ 孫文は、国外での学生生活をきっかけとしてキリスト教に帰依し、そのヒューマニズムの立場から自由・平等・博愛の三原則からなる三民主義を唱えて、革命運動を推し進めた。
- ④ マーティン・ルーサー・キングは、社会正義の実現が「愛と非暴力の結合」にあると考えて、力(パワー)を不必要なものとし、無抵抗主義を貫くことによって、人種差別をはじめとするあらゆる抑圧に反対した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	3	①	3